

第37号様式(第3条関係)

景観チェックシート⑤【重点地区以外の地区(工作物)】

行為者()

＜景観形成の方針＞

□まちの地域

商業地、工業地、住宅地などの都市機能の集積状況や都市基盤の整備状況などに応じ、市街地の特性やまとまりを生かした、にぎわいや個性あふれる景観形成を目指します。

□川とまちの地域

河川や斜面緑地、農地などの多様な自然的景観資源と市街地が近接する地域特性を生かし、豊かな自然環境が織り込まれた、潤いのある田園景観を目指します。

□湖と里の地域

相模川沿いの台地上に広がる市街地や集落では、地域の歴史的・文化的景観資源を生かし、周辺に広がる田園や山々の豊かな自然と一体となった、潤いのある景観形成を目指します。

□山と里の地域

丹沢山、陣馬山に代表される山々や雄大な相模川、道志川の豊かな自然景観を守り、その中に点在する農地や集落のまとまり、暮らしに根付いている歴史的・文化的景観資源を大切に、落ち着いた景観形成を目指します。

＜工作物の景観誘導指針＞

項 目	配 慮 事 項	該 当 の 有 無		景観形成のために配慮した事項
		有 り	無 し	
配 置	歴史的建造物や地域のシンボルとなっている景観資源への影響や景勝地からの見え方に十分に配慮した配置及び形態・意匠とする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
形 態 ・ 意 匠	建築物と一体的なデザインとする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	住宅地における擁壁は、高さを抑える、勾配を持たせる、ひな壇とする、前面に植栽をするなどの工夫により、圧迫感を軽減させる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	大規模な擁壁(見付面積100㎡以上)は、周辺に与える影響を軽減させ、中・遠景の見え方に配慮した仕上げや緑化を行う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
色 彩	面的な広がりを持つ工作物は、暖色系色相の低・中彩度色を基本とする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	柱状の工作物は、こげ茶、グレーベージュ、黒、暗灰色など、暖色系色相の低明度、低彩度色又は無彩色の低明度色を基本とする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	商業地を除き、アクセントカラーは使用しない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
そ の 他	過激な光の拡散や点滅の激しいネオン等の使用は避ける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	航空法に基づき、鉄塔等に赤白の色彩を施すものは、市長と別途協議を行うこと。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

備考

該当する□にチェックしてください。